



「メッセンジャー」の遺族の言葉などを読む教育関係者ら=19日、田原本町桑庄の県立教育研究所玄関ロビー

県立教育研究所で「生命のメッセージ展」

命の大切さ知って

事件、事故被害者のパネル11体

写真や思い添えて

29日まで

田原本町桑庄の県立教育研究所で、命の大切さを伝える「生命のメッセージ展」が開かれている。29日まで。

それでも自由に観覧でき

研修などで同研究所を訪れる県内の教育関係者に同展を広く知ってもらおうのが狙い。会場のロビーには、事件や事故で亡くなった被害者の等身大パネルに笑顔の写真と遺族のメッセージを添えた「メッセンジャー」11体が展示されている。

19日には同展の学校での開催を推進するNPO法人KENTOの児島早苗代表＝奈良市＝が、管理職人権教育研修講座の休憩時間を利用して、県内の小学校、高校、特別支援学校の教頭、校長ら約270人に同展の概要を紹介。さまざまな年代の子供たちが展示を見る、各地の会場の様子を説明した。

研修終了後に展示を見学した、五條市立北宇智小学校の福塚恒人教頭は「子供たちの心の琴線に触れ、命の大切さを実感として伝えられる素晴らしい取り組みだと感じた」と話した。

観覧無料。午前9時から午後5時開場(最終日は正午ごろまで)。土・日曜、祝日休。だ